

鹿本高校SSH通信 Vol.31



令和6年度 SSH講演会を行いました。 「ヒトの隣人：霊長類から学ぶこと」

5月27日(月)の午後から山鹿市民交流センターのホールにて、公益財団法人日本モンキーセンター、キュレーターの赤見理恵先生を招き、講演会を実施しました。赤見先生は、「霊長類の魅力をどのように伝えるか」という教育的側面と「人々は霊長類をどのように見ているか」という利用者研究の側面から日本モンキーセンターにて研究が行われています。同じ霊長類である人間だからこそ、さまざまな地域にいるサルの中まの生態を知ることで、ヒトとの類似性や違い、種ごとに多様な社会があることをお話いただきました。



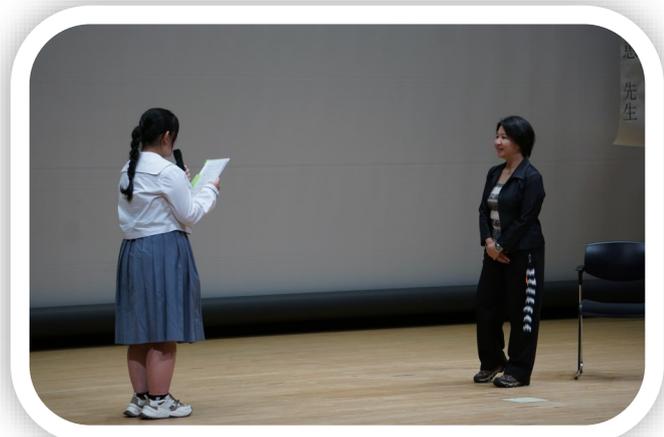
(環境による食性の違いや、海外との比較について、データを用いて説明)



(熊本県の話もお話いただいた)

今回の講演では、日本モンキーセンターの動画や、海外の霊長類を撮影した動画なども多く扱われ、生徒たちも楽しんで聴いていました。また、講演後の質疑応答では、4名の生徒が質問をしてくれました。家で動物を飼っている生徒もおり、生活の環境に関する質問や、「サルの種類によっては、ヒトにおびえて逃げ、撮影などが難しいのでは」と、霊長類の性質に関する質問をしてくれました。例年行っている講演会ですが、年々質問の質も上がってきているように感じられました。

最後に、学校を代表して、池永さんが謝辞を述べてくれました。今回の講演を今後の課題研究に役立ててくれることを望みます。



(学校を代表して謝辞を行う池永さん)



(質問してくれた4名)